社会の回復力向上に資する自然に基づく解決策 (仮版)

Marcin Pawel Jarzebski
東京大学
新領域創成科学研究科
サステイナブル社会デザインセンター
特任准教授

自然に基づく解決策（NbS）とは

- 生態系を保全・再生・持続的に管理する取り組み
- 社会的課題の解決に貢献
- 人間と自然の双方に利益をもたらすアプローチ

- NbSが貢献する分野：
- • 気候変動への適応
- • 災害リスクの軽減
- • 生物多様性の保全
- • 人々のウェルビーイング向上

高齢化・人口減少社会におけるNbS

- NbSは以下の状況で重要性が高まる：
- • 人口減少による地域管理力の低下
- • 高齢者が身近な自然に依存する機会の増加
- • 地域コミュニティの結束力の重要性
-

- NbSの主な役割：
- • 場所への愛着の強化
- • 心身の健康支援
- • 文化的景観の維持
- • 世代間協力の促進

活動概要

- 高齢化および人口減少に関する研究
- 自然保全の移行プロセスに焦点
- 日本・ポーランド・東南アジアにおける比較事例研究
- ステークホルダー参加型および協働型リサーチ

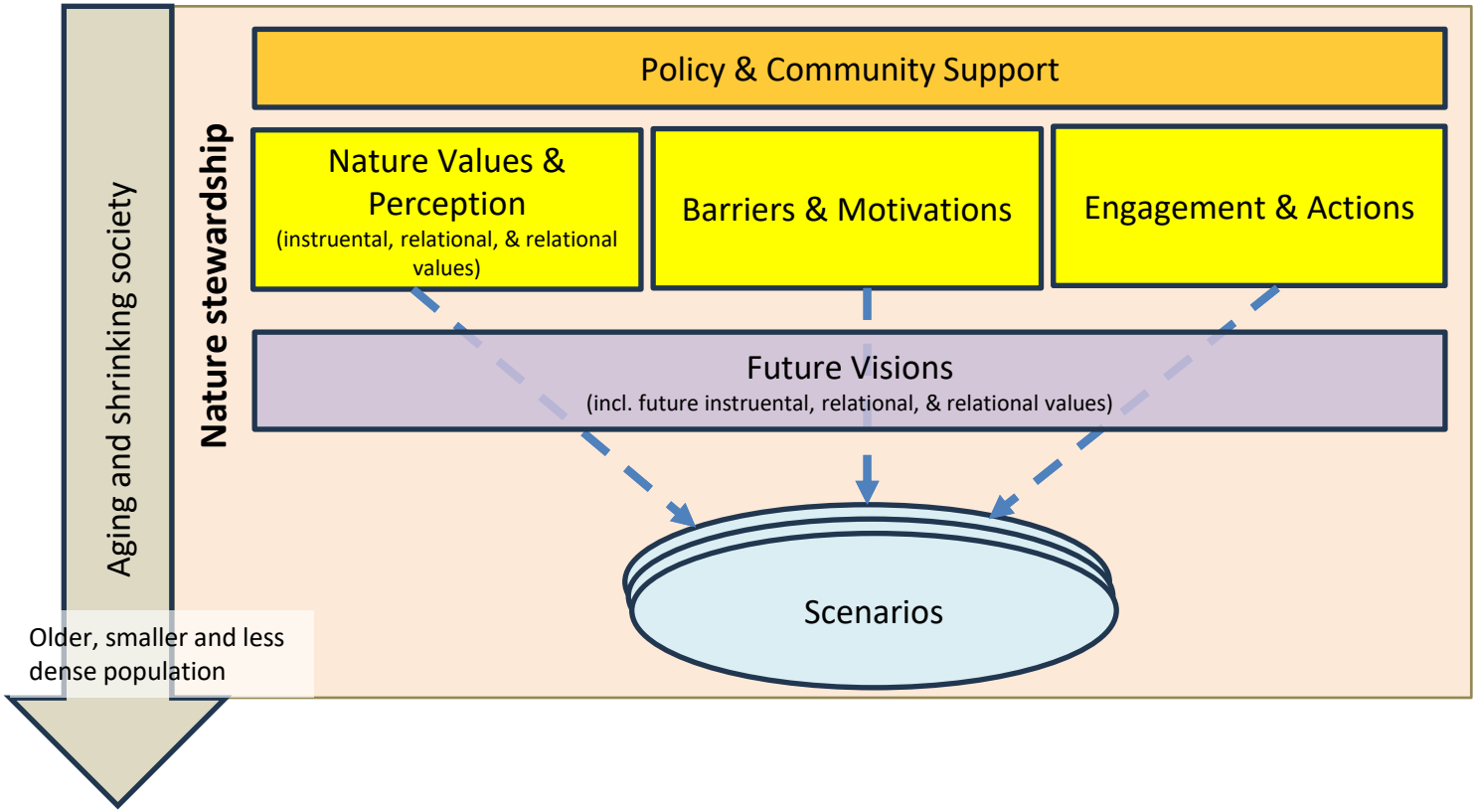
なぜ自然に基づく解決策（NbS）なのか？

- 生態系のレジリエンスを強化する
- 地域コミュニティのウェルビーイングを支える
- 費用対効果の高い適応戦略
- 社会的目標と環境目標を統合する

From Activities to Future Challenges

- 環境保全の維持
- 人口動態の変化への適応
- 新たに生じる不確実性への対応
- イノベーションとパートナーシップの役割

Framework


Aging and shrinking society
Older, smaller and less dense population
Nature stewardship
Policy & Community Support
Nature Values & Perception
(instruental, relational, & relational values)
Barriers & Motivations
Engagement & Actions
Future Visions
(incl. future instruental, relational, & relational values)
Scenarios

NESCAFÉ
GOLD

横瀬集落 フクギ並木通り
Bise-fukugi Tree Road

本研究におけるNbSの枠組み

- 本研究は以下を統合的に分析：
- • ポストコンフリクト復興
- • 人口動態の変化
- • 気候変動適応
-

- NbSを通じて検討する要素：
- • 自然に対する価値観・認識
- • 地域参加と行動
- • 障壁と動機
- • 政策・制度的支援
- • 将来の自然管理シナリオ

- 目標 → **ネイチャーポジティブな復興モデルの構築**

New Project in Ukraine

- 紛争後のグリーンインフラ整備
- 生態系回復の支援
- 社会的レジリエンスの強化
- 国際協力の枠組み

Balancing Conservation & Development

- 復興を進めながら生物多様性を保全する
- 地域コミュニティの参加
- 持続可能な資源管理
- 長期的なレジリエンス計画

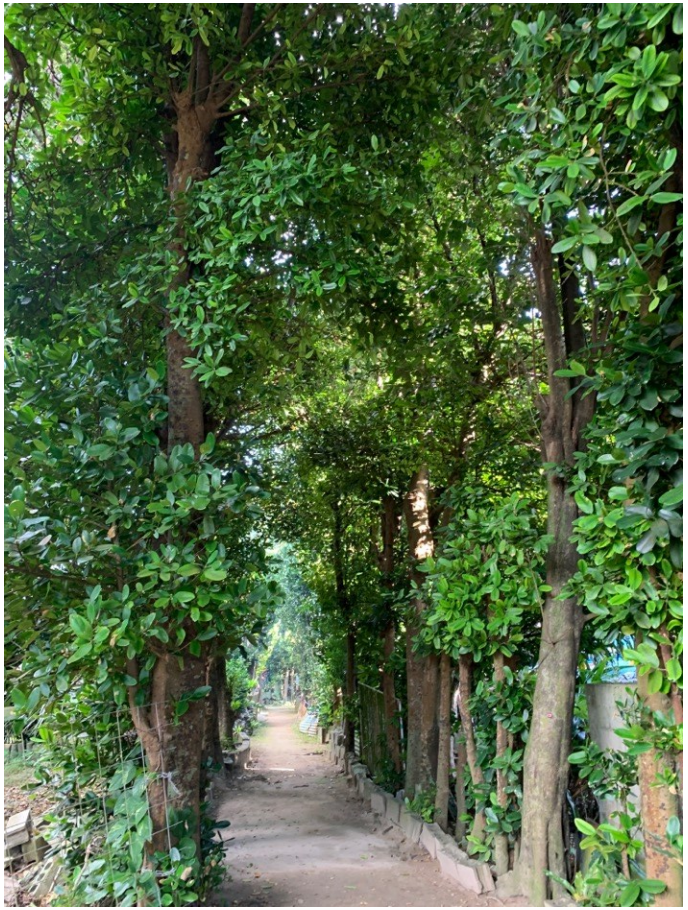
Engaging with the Unknown

- シナリオプランニングのアプローチ
- 適応的ガバナンス
- 世界の経験から学ぶ
- 柔軟で包摂的な意思決定

Key Message

- ネイチャー・ベースド・ソリューション（自然に基づく解決策）は、不確実性がある状況でも、復興を促進し、レジリエンス（回復力）を高め、持続可能な未来を支えることができます。

- Okuma City, Fukushima, (March 6, 2020)



- Bise, Motobu, Okinawa, Japan

- Bialowieza, Poland